

沿線1市6町首長及び議会議長宛て提出した請願書（又は陳情書・要望書）は以下の通りです。

ふるさと銀河線代替バスの運行に関する請願（又は陳情・要望）

要 旨

1. ふるさと銀河線代替バスの運賃は、現在の額を維持されること。
2. 代替バスを永続的に運行させるために、沿線の地方公共団体を構成員とする一部事務組合又は協議会を設置されて「代替バスの路線確保とバス基金の創設及び運用」を行われること。

理 由

1. ふるさと銀河線沿線の地方公共団体は、これに代替する公共交通機関として北海道北見バス及び十勝バスを選定し、運賃についても既存バス運賃をそのまま適用したが、その額は、区間によっては鉄道運賃に比べ三割も値上げされた額であり、これ以上のバス運賃の値上げは行われるべきではありません。
2. 代替バスの利用者には、鉄道に比べての利便の悪さや冬場の気象条件から、利用者が減少し、「やがてはバス撤退もあるのでは」と心配する声が多くあります。沿線住民が将来にわたり代替バスを安心して利用できるために、沿線の地方公共団体が一部事務組合又は協議会を設置し、バス運行安定基金を創設くださることを強く望みます。